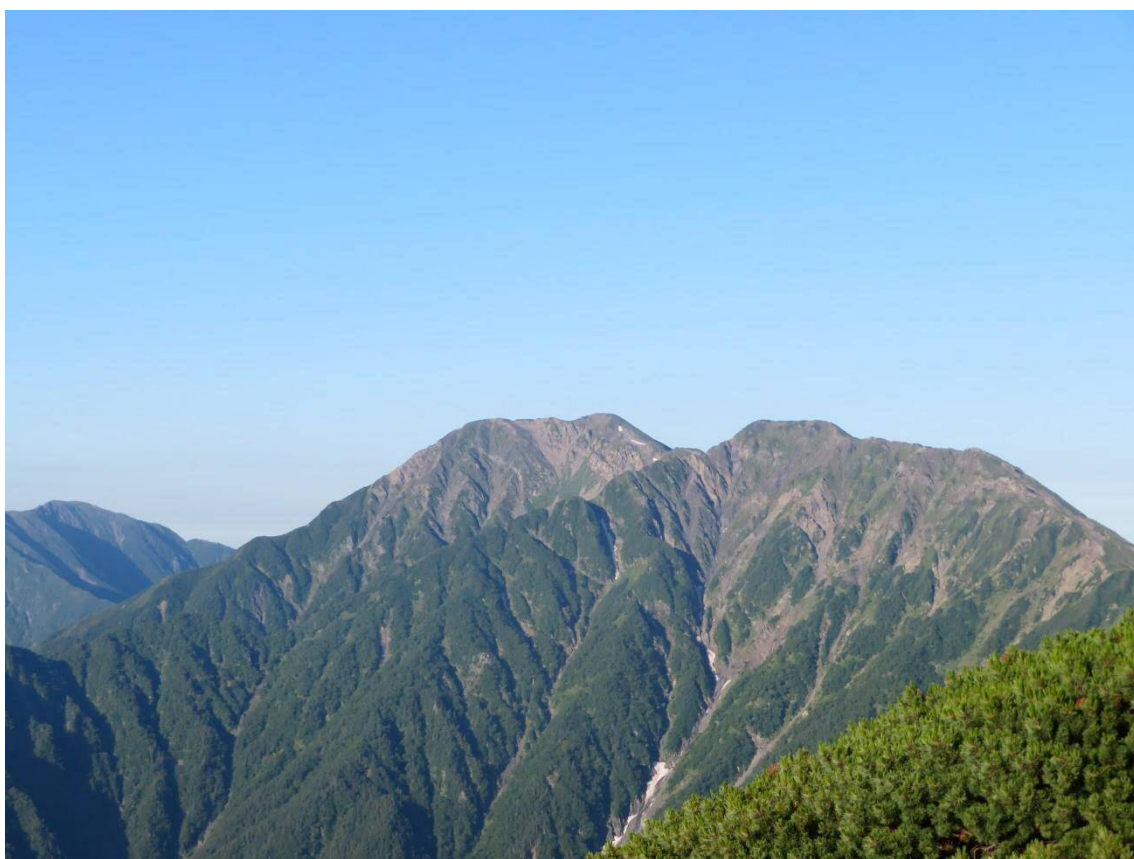


荒川三山と赤石岳 山行記

2018年7月18日（水）～ 21日（土）

ハンブルクの星（リーダー）、非会員 1名

14年振りに南アルプスの荒川三山（悪沢岳、中岳、前岳）と赤石岳の縦走をした。前回は元労山会長とテントを担いでの山行だったが、今回は非会員（石川県金沢の友人、彼にとっては初めての南アルプスと）と山小屋泊にした。



というのもこの山域では畑薙第一ダム臨時駐車場から樫島への移動で利用する東海フォレストのバスに乗車するためには縦走中に一泊をテント泊ではなくて山小屋泊にしなければならぬこと、ならば山中2泊であれば2泊とも山小屋にしようと考えたのである。



この縦走では千枚岳（標高：2880m）と南アルプスの 3000m 峰を 6 座（丸山 3032m、悪沢岳 3141m、中岳 3083m、前岳 3068m、小赤石岳 3081m と赤石岳 3120m）登頂した。なお、日本には主だった 3000m の山は 24 座あるが、そのうちの 6 座の頂きに今回立てた。

今回の山行では山中 3 日間とも概ね好天に恵まれて、懐の深い南アルプスの抜群の眺望を得られた。赤石岳の夕焼け、千枚小屋と赤石岳のご来光、赤石岳の夜の満天の星も言うことなしだった。





この時期、高山植物も見どころ満載で、特に前岳直下から荒川小屋にかけてのお花畑はシナノキンバイ、ミヤマキンポウゲなどが満開でとても素晴らしかったこと、また、各宿泊小屋での生ビールも実に美味かった。

特筆すべき点は樺島から林道をたどってすぐの所に真新しい吊り橋が今年完成して従来よりも10分弱コース短縮になったこと、千枚小屋近くの鹿対策の囲い込みのお花畑ではマルバダケブキが群生が素晴らしかったこと、千枚岳から悪沢岳のルート上でライチョウの親子に遭遇できたこと、2日目では小赤石岳山頂から雷鳴が響き渡り、赤石岳山頂に立つ頃には雨が降り出したが、激しい雷雨になる直前に赤石岳避難小屋に辛うじて雨具無しで滑り込めたことなど3日間とも夏山をたっぷり堪能できた。夏山最高！



タイム

7/18 (水) 晴れ

16:30 榎島ロッジ着

7/19 (木) 晴れ、午後ガス

6:30 榎島ロッジ出発、7:30 岩頭の見晴らし、8:30 小石下

9:40~9:50 清水平、10:45~10:55 蕨段

11:05~11:15 見晴らし台、12:30~12:40 駒鳥池

13:15 千枚小屋

7/20 (金) 晴れ、後ガス、後雷雨

5:30 千枚小屋出発、6:00~6:15 千枚岳山頂

7:00~7:10 丸山山頂、

7:45~8:20 悪沢岳山頂

9:20~9:30 中岳避難小屋を経て、中岳山頂

9:40~9:45 前岳山頂

11：20～12：20 荒川小屋、12：50 大聖寺平
14：30～14：40 小赤石岳山頂、
15：20 赤石岳山頂、15：30 赤石岳避難小屋

7/21 (土) 晴れ

5:30 赤石岳避難小屋出発

5：40～5：50 赤石岳再度山頂。

7：45～8：00 富士見平

8：30～9：30 赤石小屋

11：20～11：30 樺段

13：00 榎島帰着

14：00 東海フォレストバスにて畑薙第一ダムへ

20：30 浜松帰着

全行程の山旅ロガーによる測定データ

累積平面距離：27.2 km

累積標高（上り）：3262mと累積標高（下り）：3241m

以上、文責：ハンブルクの星